

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		○		テラスが広いことは強みであるが、室内は人数に対して手狭であり、雨天時等のスペース確保が課題。同じ建物内で活動している成人事業所のスペースを借りるなどして工夫をしている。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			常勤職員が多く、人数及び資格等、基準以上の配置がされている。しかし、男性利用者の数に対して男性職員がやや手薄となっている為、複数配置が好ましい。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか			○	事業所が2階にあるため、階段を上らなければならない。また、室内に小さな段差が多く、歩行が不安定な利用者には補助介助が必要となる場合がある。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			月1回行われる職員会議では、活動内容や利用者の過ごし方についての振り返りを行っている。出勤後にはミーティングの時間を確保し、一日の活動内容の確認をしている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			年度ごとの結果を比較している。今年度は保護者アンケートの配布を年度中期で行い、同年度内での業務改善を目標としている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			評価結果の公表が義務付けられたこともあり、ホームページにて公表をしている。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			保護者等向けの評価表（保護者アンケート）を真摯に受け止め、業務改善を進めている。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			法人として定期的に研修の機会が確保されている。事業所内で勤務調整をし、出来る限り参加をするようにしている。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			親の願い（ニーズ）を基に、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）を作成。また、日々の子どもの様子もわかるように作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか			○	現在は使用していない。必要に応じて使用を検討していく。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			職員会議等を利用し、全体でプログラムの立案を行っている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			季節を感じる事の出来るプログラムや、子ども達に人気のあるプログラムを取り入れている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			利用時間や季節、子どもの様子に応じて、活動内容を工夫し、支援を行っている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			個別の活動確保は難しいが、子どもたちの様子を把握した上で、出来る限り個別での関わりも提供していく。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			支援開始前にミーティングの時間を設け、情報の共有や当日の役割を確認している。必要に応じて担当割を行っている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			個別記録を書いている際に、子どもの様子や保護者からの連絡を共有している。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			個人記録と一日の活動の記録を必ず取っている。状況に応じて支援の見直し（改善）を行っている。

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			半期に一度モニタリングを行い、職員全体で放課後等デイサービス計画（支援計画）の見直しを行っている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	○			土曜日や長期休みの日には、昼食作りやおやつ作り、創作活動を行っている。また、昼食の買い物や外食時には、地域の店舗に向くことで交流の場にもなっている。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			主に児童発達支援管理責任者が出席するようにしている。担当ケースによっては子どもの様子を深く知る職員も同席するようにしている。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			学校への迎えの際に情報を共有している。必要に応じて、別途、時間を設け、情報共有を行うことが望ましいが、スケジュール（時間）の調整が難しく、実施しているケースは少ない。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	現在、医療的ケアを要する対象児童の利用がない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			利用前に引継ぎの時間を設けるようにしている。また、利用後も定期的に連絡を取り合い、情報を共有している。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			必要に応じて情報共有を行っている。同法人内での移行であれば、直接出向き、情報を共有することもある。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			保育所等訪問支援（リトルベガサス）との情報共有などを必要に応じて行っている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	現在、そういった活動機会はない。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○			柏市のこども部会等に参加出来るように勤務等の調整を行っている。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			送迎の際や連絡帳にて適宜やりとりをし、情報共有を行っている。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			年3回事例検討会を実施し、保護者への参加の声かけを行っている。また、昨年度、同法人内の事業所が主催したペアレントトレーニングへの参加も同様に声掛けを行っている。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			利用契約時や保護者会にて適宜行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			送迎時や連絡帳等でのやり取りの中で、必要に応じて行っている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			年度開始時に法人内の姉妹事業所と合同で保護者会を開催している。また、その場を保護者間での交流の場ともしている。（今年度はコロナウイルスの蔓延もあり、不実施）

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情等があった場合には法人全体で周知し、対応を行っている。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			活動内容のわかる写真やコメントを毎月、広報誌（ニュース）として発行している。また、法人で行われるイベント時には事業所紹介を兼ねてポスター等を作成し、活動の様子がわかるようにしている。	
	35	個人情報に十分注意しているか	○			個人情報が外部に漏れないよう、十分に注意を行っている。	
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			子ども一人ひとりの意思伝達手段（言語、筆記、ジェスチャー等）を尊重しながらコミュニケーションを図っている。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		法人が行う地域交流イベントに複数回参加するようにしている。（今年度はコロナウイルスの蔓延もあり、不実施）	
	非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			契約時や保護者会、送迎時にマニュアルを配布し、都度、説明を行っている。
		39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			法人全体で避難訓練（年1回）を実施。事業所でも毎年、避難訓練週間を行い、子どもにも非常災害発生時の訓練（練習）を行っている。
40		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			対象の研修には勤務の調整等を行い、積極的に参加するようにしている。	
41		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			現在、身体拘束を要するケースはない。やむを得ず行う場合には、放課後等デイサービス計画（支援計画）に記載し、了解を得るようにしている。	
42		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			医師・保護者の指示で対応している。	
43		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ヒヤリハット・事故があった際には、職員全体で書確認し、情報共有をしている。	